

平成 28 年度全国青年委員長会議開催報告

行 事 名 称	平成28年度#全国青年委員長会議 (目からウロコ！建築士の職能を活かす活動)#	会 場	機械工具会館 6階会議室
開 催 日 時	平成 29 年 3 月 4 日 13 : 00 ~ 21 : 00	報 告 者	連合会青年委員 川嶋 和之
開 催 趣 旨	<p>テーマ：『目からウロコ！建築士の職能を活かす活動』</p> <p>各単位士会で求められている青年委員会(部会)の役割や青年委員長(部会長)の立ち位置を自覚して貰う場とする。</p> <p>各地域で「これからの建築士」を目指した建築士会活動を展開する上で参考となる今までに無かった又は知られてなかった「目からウロコ」となるような建築士の活躍フィールドを全国の事例から学べる場の提供を行う。</p>	内 容	<p>第一部： 「建築士会を、青年委員会をよりよくするために」</p> <p>第二部： 「目からウロコ！建築士の職能を活かす活動」</p> <p>第三部： 「これからの活動目標設定」</p> <p>① 事前アンケートにて建築士の職能を活かした活躍事例の収集を行う。</p> <p>② 活動事例を基にテーブルディスカッションを行う。</p> <p>③ 上記②の協議とチームビルディングワークショップを踏まえて、参加者には今後の年間目標を設定して貰う。</p>
報 告 事 項	<p>◇趣旨に対する成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 47 都道府県 48 名の単会青年委員会代表者が一堂に会し、会をより良くするために何が必要であるか、そして現状としての良い点や悪い点を見直す切っ掛けとなった。 ・ 職能を活かした活動というキーワードに対しての各自の捉え方に、新しい気付きが見受けられた。 ・ チームビルディングワークショップがもたらすメンバーへの信頼度や、特徴を知り得る切っ掛けとなった。 ・ 向こう一年の目標を定めることで今後の委員会運営の指針となった。 		
	<p>◇課題・検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士会 綱領に対しての認知度と唱和を行う頻度が低く感じられた。各ブロック代表を通じて、伝達する必要があると感じた。また、士会バッジの着装についても同様である。 ・ ワークショップにおいて各テーブルの人員を 4 名としたため、活発な議論を展開することとなったが、欠席者が出た場合の対応については一考を要す。 ・ 職能という言葉の意味が広く深く捉えている者が多く見られ、もう少し的を絞った方が良かったかもしれない。 <p>参加者数：三井所会長、単会青年委員長・部長・部会長・代表・予定者 46 名、連合会青年委員 11 名 計 58 名</p>		

開催状況

